

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
3	電子機械工学科		実習(シーケンス)	4	末次・岡崎和
担当者(担当クラス)		3年2組			
この科目を履修するための条件や準備					
シーケンストレーナー、三菱汎用シーケンサ、BSK-500-TRⅡ、ノートパソコン、モニター、ドライバーなどの工具類。					
この科目のねらい 目標					
タイプの異なった3種類のシーケンサの機器を使用する。作成したラダー図をもとにプログラムを作成して、プログラムの動作確認(機器の動作等)、機器の制御作業を習得させる。					
具体的な指導方法					
まず例題を提示し、ラダー図、プログラミング、動作確認をさせ、類似の練習問題と課題を与えてシーケンス制御作業を身に着けさせる。まとめとして、レポートを作成させ提出させる。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
オリジナルテキスト			自作プリント		
評価方法					
実技の成果・実習態度・提出物(レポート)・出席状況などで総合的に判断する。					
年間授業計画					
実習の項目は、①アーク溶接講習 ② デジタル/エンジニアリング(D/E) ③シーケンス制御 ④アーク溶接Ⅱがあり、年間を通してローテーションで実施する項目の一つである。					
1週目: シーケンス制御の基礎、シーケンストレーナー機器を使って配線による回路の組立をさせる実習。課題とレポート作成。					
2週目: ラダー図の作成やラダー図からプログラミングを行い、三菱汎用シーケンサにプログラム入力させ、機器の動作確認を行う。課題とレポート作成。					
3週目: ラダー図の作成やラダー図からプログラミングを行い、三菱汎用シーケンサにプログラム入力させ、機器の動作確認を行う。前回より少し難易度の高い課題とレポート作成。					
4週目: ラダー図の作成やラダー図からプログラミングを行い、パソコンから入力し、BSK-500-TRⅡの機器の動作確認を行う。難易度の高い課題とレポート作成。まとめとして技能検定試験(シーケンス制御作業)3級程度の問題にチャレンジさせる。					